



續醫鈔

廿八

十五

武  
194  
15

十五



武中門  
和  
834  
15

醫抄卷第廿八



排風湯 三生散 參蘘飲 附子理中湯

加減小續命湯 小風引湯 防風湯 羚羊角湯

附子八物湯 清風散 逍遙散 如神湯

大腹皮散 防風湯 補瀉湯 逍遙散

枳殼散 熟干地黄丸 黃耆散 秦苧散

生地黄丸 赤芍藥散 草豆蔻散 進食散

茯神散 黃芩芍藥湯 當歸湯 浮心三黃湯

黃耆散 含化丸 定喘湯 金不換散

橘皮湯

神祕湯

神授湯

九寶湯

旋覆湯

柴胡半夏湯

金非草散

大半夏湯

四七湯

中風方論第一

○凡中風ニアミタノ病相アリ此下ニ一々カカスヘシ又中氣中寒  
 中暑アリテ中風ニ相似タリ中風ト思テ中風ノ療治ヲスレ  
 ハ立処ニ人ヲ損フ夫中風ハ陰陽不調ニメ血氣錯乱シ喜怒  
 ステ甚ク飲食ハカラス耆慾心ヲ恣ニスルニヨリテ血氣或ハウ  
 ツケ或ハフサカリ躰ウツケ毛ノアナヒラケヨハクシテキヒシカ

ラス是ニヨリ風邪身ヲ中ル故ニ中風ト云風ニヤフアルト云  
 コト也其病ノ秋昏々朦々メ一方夏ヲシラスヨタリ咽ニフサカリ  
 舌コハリテ物去夏不能忽ニタラフニ手足或ハナヘ或ユクニ  
 身不仁トテフメトモイタカラス我身トモ覺ヘハ或ハ齒ヲクヒ  
 ツメテロラヒラカサルモアリ或ハ眼ロユカミツル夏アリ種々ノ秋  
 アリ治スル方ノ下ニクハシクアカスヘシ中風ト云ハ此病多ハ驕貴  
 ノ人ニ生ヌタノシク世アリ人々夏シケキニヨリテ腹立喚リ又物ヲフ  
 カリ思案スルニ依テ氣トコホリテヒ通セス逆氣カミニニア  
 テ忽ニメヘレフシ心朦々トメ一方夏ヲ不知也齒ヲクヒツメテ手足ツ

リスクニ中風ニスコレコトナラスメシ中気ハロノ中涎ノコエナシ是ヲ  
 ハタヤスノアセメラス薬風ノ治方ヲナスヘカラス是ハ男女通シテ  
 アリ治方又異ナラスヨク心得ワケテ治スヘシ但是等ノ中気中  
 風中暑ホノ病ニ通メニツ蘊合田ヲ与テ心ノ生シ気ヲタスケテ  
 相ニ隨テ後ニ治スヘシ凡中風ノ病ニハ年月ヲツミテ生ス一日二  
 日ノ治ヨリイユヘカラス然ニ今ノ人總三四日薬ヲ服メイヘサ  
 レハ醫ヲソリ薬ヲキラウ是甚不可然久服シテイユヘシ孟子  
 云父ニ云七年ノ病ハ三年ノ療ヲ加ヘシト云ヘリ是ヲ以テ思ニ七  
 月ノ病ハ三月ノ薬ヲ服スヘシ七十日ノ病ハ三十日薬ヲ服シ七

日ノ病ト三日ノ治ヲナシテ愈ヘシ殊ニ三年ノ病二十日廿日ノ  
 治方ヲ以テイユル夏ヲ求ル夏ヲロカナル物也中風ノ三ニ不限一  
 切ノ病皆如此凡中風ハ薬ハ男女コトアルフスクナシ依テ合ハサヲ  
 シルスヘシ 大方ハ男女ノ中風ノ薬ノ下ニ男女婦人通テヨシトシヘ  
 タルラモケフヘシ又灸治等モカワルヘカラス 栳風湯婦人中風  
 シテ外クルハレキヲ治ス  
 白鮮皮 白朮 白芍薬 桂心 川芎 當皈  
 防風 杏仁仁皮史ヲステヨル者ノ 其中各ニ々 白茯苓 大黃  
 独活各ニ々 右細剉合テ每服三錢水一盃半生姜四

片入テ八分剪滓ヲ漉テ温テ服

〇三生散

俄ニ中風メ口眼ユカミ半身不随咽ナリ痰

塞リ六脉共沉伏ナルニヨロシク是ヲ与フヘシ目クムメキ心ホレ

遍身シユルニモヨシ極勢セン人ニハ不可與

生天南星一反

生烏頭臣思ラ去ヨ

生附子各半反皮去木香一分

右細剉合每服三錢ハシカミ十五片入テ六分剪滓漉テ温ニ

テ服ヨ

〇参蕪飲

中風ノ痰涎ノントニフサカリム子ニ三千テ

多ハキツキ目クルメキ胸ホトラリムナサワキニ手足ナヘシテ口眼

ツリユカミ半身不随ス食スレハ即ツキ頭ヒラキイタム身ホト  
ヲリテ傷寒ノ如クナルヲ治ス

人参

紫蕪葉

半夏アス

茯苓 乾葛 前胡 各三反

甘草

南木香

陳皮

枳殼

ウラヲソケステ、小麦ノカステ

桔梗 各ニ反

右細剉合テ每服四錢水一盃半罍七ヘキ

ナツメ一入テ七分剪メ滓漉テ空心ニ温ニテ服スヘシ若腹中

ノイタニハ芍薬ヲ加ヘテ剪セヨ

〇附子理中湯

五藏寒ニ損ハレロヲノヒ合テ用ス

手足コハリスクニ音失テ物云サルヲ治ス

昔武士寒国ニ行

時ニ大雪ヲレリ朝ニ出テ時アル醫師此藥ヲアタフルニニ劑服  
メツイイニ愈ヌ寒ニソコナハレタラシニハ五五ハキ也

大附子炮ヨ 人參カララ去ヨ 乾姜炮 其中アツレ 白朮各亦分

右細剉合每服四錢ノ量サ水一盃羊羔十片入テ七分ニ煎

滓瀉テロラフケアケテ与ヘシ

〇加減小續命湯 倣ニ中風メ万事ヲ不顧半身不隨

口眼ユカニツリ手足フルヒ声ワナキ振テ物云夏不能体ヒヒ

心ホレ頭重目クルメキ涎多スチツリキノヘシニル夏不能骨

節メホトラリタクシテトコカヘリスル夏不能凡一切ノ風及

脚氣ノ足弱ク天ノ陰ニ時ハイテムヲ治ス中風ノ藥ノ中是ヲ第

一トス 麻黃子フニラ去ヨ 防己キサメ 人參カララ去

黃芩桂心アラ皮ヲケアリ 川芎 杏仁皮ヌラステ、イリテ各一丸 附子炮メカララ

防風一丸半 右細剉合テ每服四錢ノ量サ水一盃羊羔

セヘキナツメニ入テ七分ニ煎滓ヲ瀉テ温ニテ服セヨ久服スレハ必

効アリ若心ホレタラハ茯神當飯加ヨ骨節ホトリ痛時ハ

附子ヲステ芍藥ヲ一倍セヨ若骨ノ間冷イタニハ桂心附

子ヲ一ニシテ合ヨエツキ服フクレハ人參ヲ一ニシテ羊隻ヲ加ヨ

若汗間ナクタラハ廣黃杏仁ヲ除テ白朮ヲ加ヨ若足ヨワクメ

立スハ牛膝石斛各二ツ、加ヨ若腰イタニハ 桃仁杜中各半又  
ヲ加ヨ音カレ失タラハ杏仁ヲ一匁ニセ又春ハ大黃ヲ一匁ニセ夏  
ハ黃芩三分ヲニセ秋ハ當飯四匁ヲ加ヨ冬ハ附子半匁ヲ方  
人知ハ甚秘ヘシ

○小風引湯 一切中風ヲ治 防風 獨治

細辛 川芎 五味子 白茯苓 人參 白芍藥

白朮 甘草 各等分 石細對合每服三錢水一盃半

薑三片杏仁五片及夫ヲステ、打碎テ加ラ 七分ニ煎メ滓瀝テ温ニ  
テ服スヘシ

婦人中風角弓反張口禁方論第二

夫角弓反張トハ弓ノ如クニソル也是ハ身ウツケ花ニヨリテ風  
邪筋ニ入テ省ソリツル也先小續命湯ヲ与ヘヨ

○防風湯 忽ニロユカミ声ワナ、キテ別ニ此外苦ム夏ナ

キラ治ス 防風一匁 羌活半匁 耳中一分

石細對合テ每服五錢水二盃入テ一盃ニ煎麝香ヲ

少シ入テ温ニテ服セヨ

○又方 目ロユカムヲ治ス

草麻子七粒ヲ皮ヲムキテステ細ニスリテ錢ノ勢ニツクリ

テ目口左ヘツリユカハ右ノ手ノウテノ中ニツケヨ右ヘツリユ  
カハ左ノ手ノウラニラシ付ヨロカヲノユカミナラハナニユル  
ノ湯ヲ用意メヤカテイソキアライ落セ又小續命湯ヲ  
与ヘヨ灸治ラスヘシ

### 婦人血氣心神驚悸方論第三

○夫血氣驚悸スル莫ハ是風心ヲ犯ス故也心ノ藏ハ神  
ヲ收ム諸藏ノ主也若血氣調和スレハ心神安定也虚  
損スレハ心神ウツケヨハシ風邪是ニヨツテ侵ス是故ニ心ヨ  
ハリホレキモキヘ胸サワキス此故ニ中風メキモキ正シホレハ

ヲハ血風ト云血ハ心也心風ト云也又婦人ニ血風トテ月水トヨホリ  
テ血カタニリツ子ニヒユニヨリテ痛ミタルヲモ云是ハ少フトナリ  
排風湯ヲ与フヘシサキニアリ

### 婦人風邪顛狂方論第四

○夫婦人ノ顛狂ノ病ハ血氣ウツケヨラメ風邪ニ侵サル故ナリ  
顛ト云ハ俄ニ起リテ心樂ニス眼ヲミカメテ地ニアフレアハヲハキ  
ロユカミテ足フルヒ心ヲ失良久メヨミ飯也狂ト云ハ少シ卧或ハ  
山野ヲ走リ口立チヲシ或ハ笑ヒ或ハ泣キミタリニ走也故狂ト云是  
ヲ通メ顛狂ト云フト共ニ風邪血氣ヲ侵ス故也



○羚羊角散 婦人顛狂ヲ治ス 羚羊角ヤスリニテスル三分

獨活 遠志心ヲ去ヨ 菖蒲モヲコソケ 鉄ヲ心 防風各半々 茯苓心ヲ去

石膏 麥門冬心ヲ去 竜齒別ニス 白鮮皮各一々 是ハヤクハ除

人參 生乾地黄各三々 右細剉合每服三錢水一杯

半入テ七分煎滓ヲ漉テ温テ服

婦人血風白虎歷節走疰方論第五

○天身ウツケヨハクメ風邪ニ侵レテス骨物ノカフルヤウニ痛ム也  
又ハタヘ皮ヘニハシリサシツク如ク痛ム是ヲ走疰ト云

○芍藥知母湯 手足ノツキメヒラメキ痛ミハタヘ皮ヘ子

一リハ頭重ク目クルメキ氣ヲウシテヒ吐トスルヲ治ス

桂心 知母 防風 各四々 芍藥 甘草 麻黃子ヲレテステヨ 各三々

附子三々 右細剉合每服四錢水一盃半ハシカ三五片

入テ七分煎滓ヲ漉テ空心ニ温ニテ服セヨ

○附子八物湯 歷節風トテホ子ヲ物カフルヤウニ痛ムス

千ハタヘヒイラキ痛ミテ足ヲエニテタク如クイタシテハサルヲ治

附子炮ヨ 乾姜 芍藥 茯苓 人參 甘草 桂心各三々

白朮四々 右細剉合テ每服四錢水二盃ハシカ三五片入

テ七分煎滓ヲ漉テ食前ニ温テ服セヨ小續命湯イヨリヨシ

婦人血風癩癧癩癧癩癧方論第六

○夫癩ト云ハ躰ウツケタルニ依テ風邪ハ入テトニリテ風寒ニア  
フ時ハハタヘハレ子ニリテ足カホ、メキハル、也赤ヲハ赤癩ト云天ノ熱ス  
ル時起也白ヲハ白癩ト云天ノクモリ雨フリス、シキ時イツ汗ノ出時  
毛ノ穴ノアク時風ニアメリ及湯アヒテ則ヒケハ皮ヘニ風入テ仍風  
癩ト云

○消風散 惣テ諸ノ中風ヲ治ス別ニテ癩癧カユカリハレ肩

ノ骨イタク頭重ク目クルメクヲ治ス

白茯苓 川芎 羌活 人參 白僵蚕 防風カフヲ去

藿香 蟬蛻ユラアライテ 荊芥 甘草アフレ各ニ分 陳皮

厚朴ハシカミノ汁ニヒタシテアツリ 右細末毎服二錢ヲ茶ヲタテタ

ルウハスニニテ服ヨ 又四物湯ニ荊芥ヲ加テ煎服ヨ

○又方風癩ノカユカリ子ニリヲ治 蒼耳ノ花ト葉ト根ト

各等分 右細末毎服二錢ヲ黑豆ヲイリテアツキ時酒ニ

入テアタ、カナル時ソノ酒ニテ服セヨ

○又方 蟬蛻アラヘ 薄荷葉 右等分細末メ毎服

三錢酒ニテ服セヨ時ヲ不定

○逍遙散 婦人癩癧ヲ治ス 又婦人ノ一切ノ病ヲ治ス

白茯苓 當飯 柴胡 白芍藥 白朮 各一分 甘草 一分

右細剉合テ每服二錢水一盃ハシカニ三片薄荷葉ヤシ今  
七分煎滓ヲ漉テアタカニテ服ヨ時ヲ定ス

婦人腰痛方論第七

夫腎ハ腰ニツカサトル腎氣ウツケヨハキ時ハ外六淫ニソコナハレ丹七  
情ニヤフレテ腰痛也

○如神湯 男子女人ノ一切ノ腰痛ヲ治ス 延胡索

當飯 桂心 各等分 右細末メ每服二錢温酒ニテ服ヨ此藥

極テ効アリ

婦人脚氣方論第八

○天婦人ノ脚氣ハ男子ニ異ル 男子ハ即腎藏ヨハクウツケテ  
風濕ニソコナハレテ病也 婦人ハ肥浴ノ氣ヨハクウツケテ風濕毒  
ニヤフテレテ痛ム也 其形風邪足ヨリ入テ上リテハラムヲツク故  
脚ト云也 或ハ股足ノ筋ツリ骨痛ニ或ハヒハ痛ニ或ハレ滿  
或ハ足ヨハク目クルメキ睨ホトヲリ食スレハ即吐小便赤クシテ  
大便結シテトコホリタルヲ云也

○大腹皮散 脚氣ノハ心神ホトヲリモタヘ月水通セサル

ヲ治ス 大腹皮 紫蘘 木通 桑白皮 羌活

荊芥 赤芍藥 青皮 木此 獨活 各一匁 枳殼 各一匁

ソクステ、キサミテ、少カスニセテ、イリテ、ノキ、石細剉合、毎服、四錢、水一、

盃ハシカミ五片葱ノ白根七寸入テ七分ニ煎メ滓ヲ漏テ温

ニテ服セヨ

○半隻散 婦人ノ脚氣ノ發動シテ心服滿シ飲食消セ

ス嘔逆スルヲ治ス 半隻 陳皮 人參 大腹皮

桂心 各三匁 檳榔子 一匁 赤茯苓 紫蘇 各一匁半

石細剉合、毎服、四錢、水一盃半ハシカミ三片入テ七分煎メ

滓ヲ漏テ温ニテ服セヨ

○薏苡仁散 婦人ノ脚氣ノ足ヨク及子ニリシホレ腫滿ム

子下苦ク大便シフリトコホリタルヲ治ス

薏苡仁 防風 猪苓 川芎 防己 檳榔子

郁李仁 大麻子 各一匁 赤白皮 二匁 枳實 一匁

甘草 半匁 羚羊角 一匁

右細剉合、毎服、三錢、水一盃入テ七分煎メ滓ヲ漏テ温テ

服セヨ

勞瘵方第九

○天勞瘵ト云ハ骨蒸トモ云或ハ瘵瘵トモ云復連トモ尸瘵トモ

云此外種々ノ名アレト傳アト云也又此種類ニ或ハ二十二種或  
三十六種或ハ九十九種アリ大畧男子ノ傳尸病ト同然ト  
モアラクヤカライタスヘシ

○素白皮湯 勞瘵ノ心胸皆フサカリ左右ノワキツリ  
痛ミ声カレ虚勞ノ熱氣アカリ梟血ヲ治ス

素白皮三分 枳殼ウララフコノケル木通 黃金 生乳地黄

白芍藥 甘草 各半々 右細剉合每服三錢水一大盃  
入テ七分煎滓瀝テ温ニテ食后ニ服セヨ

○防風湯 虚勞ノ食后ニ身ヒラキ物ウク夜盜汗

タリ鼻タリモシハ吐血等ノ病ヨリ血氣ノ三千破損シテ治ス

黃耆一匁 白芍藥三分 防風三分 其中半 當飯

生乳地黄 各三分 右細剉合每服三錢水一盃ハシカミ

ナツメ一八テ七分煎滓瀝テ温ニテ食前ニ服ヨ

○補沛湯 勞瘵傳尸ノ嘔ヲ治ス

素白皮 麩地黄 各二分 人參 紫苑 黃耆 五味子 各一分

右細末每服二錢水一盃入テ七分煎蜜少入テカキ立食

前服セヨ

○道遙散 虚勞傳尸骨蒸ノヤセ衰ルヲ治スサキニ三五タリ

○枳殼散

傳尸骨蒸ノ手足ホトヲリ夜フシテ子アセノ  
タリハタエヤセキハ三月水不調ニム子フサカリクルシクモタフルヲ治ス

枳殼

サ子ヲコソケステハ少薬ノ  
カスニセテイリテニ又

半夏麴

赤芍藥 各一匁

柴胡

カフラステ、  
キサメ

黄芩 各一匁半

右細末毎服二錢水一

盃ハシカミ三片ナツメニ入テ半分煎メ滓ヲ漉テ温ニテ服ヨ

○熟乾地黄丸

婦人ノ虚勞ノ冷ウツケテ身体ヤセキハミ

手足カナリ月水不調ニメ飲食ヲ思サルヲ治ス

五味子

當飯

川芎

桂心

アラ皮ヲケツリ  
ステ、各半匁

牛膝

人参

白茯苓

白朮

附子

炮シテ皮ヘノ  
ラステヨ

白芍藥

黄耆 各三匁

其中一分

右細末メ煉蜜ニテ○是程ニ丸テ

空心ニアタメタル酒ニテ此ヲノ湯ニテモ三十丸ツ、服セヨ

○黄耆散

婦人ノ虚勞トテ虚勞ノヤセツカレテ手足ホト

ヲリヒラメキム子ホトメキロカハキ飲食ヲ思ハサルヲ治ス

人参

黄芩

當飯

各三匁

柴胡

カフラステ、  
一匁半

黄耆

地骨皮

赤茯苓

麦門冬

心ヲステヨ

生乾地黄 赤藥 各一

其中一分

右細剉合毎服三錢水一盃ハシカミ五片入テ六分煎

滓ヲ漉テ温テ服ヨ時ヲ定ス

○秦艽散

虚勞ノ月水ト、コホリム子ホトヲリ手足ノウラホ

メクヲ治ス

麦門冬

秦艽 各一匁

生乾地黄

當歸 各半匁

地骨皮

鬱金

蘇枳木 各一分

右細末メ

毎服一錢半水一盃紅花少シ入テ七分煎温ニテ服ヨ若月水ニワ  
ツラヒナクハ紅花ヲ用セ此藥ノ間ハ酒麩物ヲイムヘシ一年此藥ヲ  
服メ長ク根元ヲ除

寡婦寒熱瘧疾ノ如ナル方論第十

○寡婦ノイニシユヨリ未治スライハス倉公ト褚灌ト此又ヲ  
論セリ此丘尼及夫ナキ女シツカニ居テ男ヲ思ヒ及夫ニ思ヒ心發  
時即トツカセハ又病ヲナス是獨陰無陽トテ女獨ニシテ男ナキ

病トナル此病ノ躰ハ忽ニホトヲリ振ヒヘテ瘧疾ノ如シ或瘦衰ヘテ  
カホラ口出キム子ヲサカリ月水トコホリテ白蠟小便ニ交下ル肝脈弦  
ニシテ寸口ヲ上莫際人ノホカ此獨陰無陽ノ病ト知ルヘシ

○生地黃用

許學士カ云ク獨ノ尼僧風ヲウレウ躰物ウク

忽ニホトヲリ面赤ム子ホトヲリ或ハ時々子アセタルコノ時ニ天下ニ  
疫疔アリ仍醫師寒熱スルヲニテ傷寒ト思テ大柴胡湯小柴  
胡湯ヲ交ヘスハムルニ數日ヲメ病弥々甚シ予脈ヲ取心ニルニ全  
傷寒ノ脈ナシ只肝ノ脈弦ニメ長シ然メ魚際ニノホル仍此藥ヲ  
与ルニ忽ニイユ

柴胡

秦艽

ヒテラステヨ

黃芩 各二分

生地黃四匁 赤芍藥二匁 右細末メ 煉蜜ニテ 是程ニ 九テ  
 毎服三十九ツ、烏梅ノ 煎物ニテ 時ヲ 不定日ニ 三度服ヨ  
 私云此藥タ 用テ 効アリ 秘ヘシ

婦人ノ血風第十一

○夫血風ト云ハ 臟腑ツカレ ヤフレテ血氣ウツケ ヨハキ 時風邪 侵ス  
 エハニ 血氣ノ ミチフ サカリシ アル時熱 生ス 或ハ 手足ノ 節メ ホトラ  
 リ痛ミ ロカハキ 煩悶スル 是ヲ 血風煩悶 ノ病ト 名ク

○赤芍藥散

婦人ノ血風煩悶 メ 飲食思ハ ス 手足ス シミ  
 頭重目クラシ 身体ヒラキ イタム ヲ治ス

牡丹皮 白茯苓 赤芍藥 香白芷 甘草各二匁

柴胡三匁 右細末メ 毎服二錢 水一盃 ハシカ ミ三片 漿入テ

七分煎 メ 温ニテ 食后 鹽卧 二服ス

○草豆蔻散

婦人ノ血風冷 氣脾胃 ヲラ セメテ 嘔逆  
 シテ 全食セ サルヲ 治ス 人參一匁 草豆蔻仁ハシ 差ノ カス ミツ ミテ アツ  
ハイニウツミテムスヘシ

白茯苓半匁 各三匁 高良姜 白朮 縮砂仁 枇杷葉燒

桂心アラ皮 ラケ ヲリ 南木香 青皮 甘草各半匁

右細對合毎服 三錢 水一盃 ハシカ ミ三片 入テ 七分煎 滓滌 温ニテ 時定入 服セヨ



○進食散 血風眩冒虛寒ニメ飲食ヲ思ハス及久ク病人

ノ全飲食セサル物一二服スルニヨク食ス 青皮 陳皮

甘草 高良香 桂心アツ皮ヲステ、  
谷ニク 川烏頭炮メ皮スルトラ  
ステヨ

草豆蔻各三分 訶梨勒各一分 右細末每服一錢水一

盃ハシカニ三片入テ七分煎メ温テ服セヨ

婦人ノ夢ニ鬼ト交方論第十二

○夫人ニ五行ノ氣ヲウケテ生シ五藏ノ神ヲタモナヤレナル若陰陽  
トノヲレハ藏府強クサカリニメ風邪鬼靈是ヲソコナフ夏アハス若  
血氣ウツケヨハケレハ風邪ソノ虚ニノリテ鬼邪其正クオカス然ニ

婦人ユメニ鬼ト交リトツク夏ハ藏府ノウツケタルニヨリ五藏ノ

神身ヲ示ラス故ニ鬼ヲ病ヲナス其秋人ニミユル夏ヲテ独リ

笑物ニ或時ハナキカナシム是也脉淫伏或ハ鳥喙トテスメノ

ツイハ三オトルヤウ也是ハ六極ノ死脉ノ其一也然ニ気カワツツイ

ナクサセル病ナクシテ此脉ノ現スルハ邪氣ノ脉ト知ヘシ又病甚

クメ立処イキタエントスレトモ脉ノトカニテ世ノツ子ナル又是邪氣ノ

脉也

○茯神散 婦人ノ風虚ニヨリテ鬼ト交ル言語錯乱メ目

ニアレキ物ミユルヲ治ス 茯神 五羊 茯苓 人參

石菖蒲 各一匁

赤小豆 四匁

右細剉合テ每服三錢水一

盃入テ六分煎滓ヲ漉テ食前温テ服ヨ一切邪鬼タリ

ヲ治ス 又蕪合香田ヲ与フヘシ

婦人ノ傷寒ノ傷風ノ方論第十三

○天傷寒ノ傷風ノスカタ并ニ治方ハ男子ニコトナラス仍テ

イニハ男子ニコトナル治方許ヲ明スヘシ 婦人ノ傷寒ノ自水絶

テ日中ニハ心地ヨウメタ、病甚クシテ譫語トテ何トモナキ

ロメナス或ハ鬼ヲミテ走リクルウハ是傷寒ノ熱病ノ熱氣

血室ニ入テセムル也是ヲ熱シタレハトテ下スヘカラス小柴胡ヲ

与フヘシ立処ニイユ小柴胡湯ハ男子ノ傷寒ノ卷ニアリ

又懷妊ノ物ノ傷寒ニハ冷藥ヲ与フヘシ桂心羊棗桃仁

等ヲ与フヘカラス

今ノ小柴胡湯ニ半隻ヲ除キタル

ヲ黄竜湯ト名ク是ヲ与フヘシ

○黄苓芍藥湯

婦人ノ傷寒ノ口カハキ咽乾テ

腹ヲクシ滿飲食思サルヲ治ス

黄苓

白芍藥

白朮 生乾地黄 各一匁

右細剉合每服四錢水一盃

入テ七分煎メ滓ヲ漉テ温テ服ヨ外寒セハ生姜ヲ少加テ煎ヨ

○當飯湯

婦人ノ傷寒ノ喘ニイキ急メム子ホトヲリ或

時ハ振ワナキサムケ六ハ是陰陽トモ虚セリ下スヘカラス此藥

是ヲ治ス 柴胡三反 白朮二反 人參 甘草 赤芍藥

當飯各一反 五味子 木通 各半反 石細對合每服半水

一盃羊ハシカ三四片棗二八テ八分煎滓ヲ瀉テ温服セヨ

○浮心三黃湯

婦人ノ六七日冒ノ府ノウチニ燥屎トテカハ

ケル屎大脹ノ中ニカタニリテ利結シ謔語シ目アカクメ不問閉フサ

クヲ治ス 大黃 黃芩 黃連 各等分 石細對合每

服四錢水一盃八テ八分煎メ滓ヲ瀉テ温テ服セヨ若目赤メモ

シイタノハ茯苓并葉ヲ割ニ加テ煎服セヨ少利下ルニテ服ヨ

此外ノ治方ハ男子ノ傷寒ノ卷ニニエタリ

婦人ノ咳嗽ノ方論第十四

○夫咳嗽ハ肺虚タルニ依テ寒熱風温メ氣ニ侵サレテ作所シ

肺ノ藏ハヨノ四藏ノ華蓋也内ハ諸藏氣ヲ収メ外ハ皮

毛合ス寒熱風温ニソコナハレハ皮毛ヨリ入テ肺ヲメコナウ

故ニ咳ス脉ヲモテムサテ療治スヘシ脉浮テ弦ナルハ風ヨ

リ起リタリト知ヘシ濡ニシテ溺ヲハ濕ヨリ起タリト知ヘシ供

シテ数ナルハ熱ヨリ起タリトシレ屋メ波ソルハ寒ヨリ起タリト

シリテ治セヨ風ヨリ起タルヲハ散セヨ温氣ヨリ起タルヲハ燥

熱ヨリ起タルヲハ涼セヨ寒ヨリ起タルヲハ温メヨ又虚セルヲハ補セヨ如此シリ能テ治スル時イユスト云々又ナシ

○黄耆散

咳嗽ノ中熱メ膿血ヲハキロニカク咽カハキ虚セルヲ治

黄耆四匁 甘草二匁 右細末毎服二錢カヘリ湯

ニテ日ニ二三服セヨ

○一方 甘草一匁 黄耆六匁 入タルヲ黄耆六一湯

名ク是ハ煎メ服スル也

○食化丸 昔婦人アリテ肺熱ヲケレヘテ久ク咳嗽

シ身ホトヲリヤセツカレタリ冠宗ト云醫師此薬ヲアタウルニ立処ニイヘヌ

枇杷葉毛ヲコソケステ、アフレ 桑白皮 款冬花 木通

紫菀 杏仁カフト皮ヲステ、各ニ匁 大黃一匁 右細末煉蜜ニテ

○是程ニ丸メ食后臨卧三丸ツロニク、ニテヤウヤクシ

ワフリノムヘシ

○定喘湯 男女ノ咳嗽息ノ氣アカリ咽ノ中ニヨタリ

声キコユム子ニ血フサカリ坐卧ヤスカラス飲食消セス及

肺寒ニ侵サレ声カレテ物ハス 梟フサカリ頭重ク年月久キ

咳嗽ヲ治ス

半隻翹

半隻ヲツキフルイテハシカミノシルヲツキシホリテコ子テカウジニ子サセタルアリ

イリテモナイニセヨ

阿膠

アツハイニヤキテ

其中各半錢ノ重サ 鷲栗殼

ウララフコソケステ、醋ニヒタシテアフレ 半匁

五味子

桑白皮

麻黃フシラステヨ

人參各一分

右細割合每服三錢水一盃半ハシカミ

三片烏梅一八テ七分煎滓ヲ瀉テ温ニテ食后臨卧

服セヨ

○金不換散

男子女人ノ肺胃虚寒ニメ久クシハフキ

スル夏ヤハスアヘキシ息短ク涎多腹脹フクレミ午腰背

痛ク或ハ虚勞ノヒユテシハフキ及年久キ喘息咳嗽ノ諸

藥及サルヲ治スキハメテシルシアリ

鷲栗殼

ウララフコソケステヨ

ニヒタシテアフリカワカシテ 半匁

杏仁

皮トカフラステ、小麥ノカスニニセテイレ

甘草各三錢重サ

右細割合每服三錢水一盃半ハシカミ三片烏梅一八テ八分

ニ煎メ滓ヲ瀉テ食后臨卧ニ温テ服セヨ

○橘皮湯

春久寒ニソコナレ隻妹冷湿気ニ侵

サレテ咳嗽ニ咽ニ痰ノ声ナリ氣上リクタラス頭痛スルヲ

治ス

陳皮

紫苑

麻黃

根ヲステヨ杏仁コレヲハテ

當飯

桂心

アツ皮ヲケウリテステヨ甘草

黃芩各半分

右細割合每服五錢水一盃半八テ一盃ニ煎メ滓瀉テ

温服セヨ

婦人喘息方論第十五

○神祕湯 水氣肺ニ入テアヘキレ及水ヲ吞ニ依

テヒヘテアエキスルヲ治ス 陳皮ウラヲコソケヨ 紫蘇葉

人參 桑白皮 生姜 各ホ分 右細對合每服四

錢水一盃七分ニ剪メ滓ヲ漉テ温服セヨ

○神授湯 陳皮 桔梗 紫蘇 人參 五味子

各ホ分 右細對合每服四錢水一盃八テ七分剪

滓ヲ漉テ温ニテ食后ニ服セヨ

○九寶湯

風侵サレ若ハ熱氣ニツコナレ一切ノ咳

喘ノ息短ク若老者小兒室女婦人ノ産前産后ノレワ

フキアエキセンニ皆アタヘテ服セシムヘシ但虚勞ノ人汗タラニハアタ

フヘカラス 薄荷葉 紫蘇 大腹皮 麻黄子フニラ去テ 各四錢重サ

桑白皮 桂心 杏仁 陳皮 耳中 各ニ反

右細キサミ合テ每服四錢水一盃半ハシカミ十片烏梅一入テ

六分煎滓漉テ温ニテ食后服ヨ

卅年殊冬至コトニ則起起コト甚ニクメ坐卧スル事不能百

方ヲ尽トモイユス后ニ臨平ノ僧法本ト云ニ逢テ此方ヲ得眼

テツイニ愈法本ハ喘ヲヤム夏三十年此薬ヲ服メ半年ニシテ終ニイユテ再起テス凡此薬ハ久服メ効アリ此外ノ咳喘息ノ治方ハ男子ノ喘息ノ卷ニアリ通テ用ヘシ

婦人ノ痰方論第十六

夫痰疾ハ臟府ニ風冷水飲ツモリテ胸ノ間ニカタニリテ作所ナリ 人皆痰在少ナキハワライヲサス多ハウレイヲナス 依テ痰飲ハ子ノ間ニカタニリ五藏ニ積時ハ目クルメキ頭痛ム也

○旋覆花湯

婦人ノ風痰嘔逆メ飲食イタラス

頭重ク目クルメクヲ治ス

旋覆花

枇杷葉

毛ヲ去テアフレ

川芎

細辛

藿香

桂心

枳殼

ウアラコソケテイレ小麦ノカスニセテ

前胡

カララホ 人參

羌活

半夏

洗テアフレ各半匁

甘草

羚羊角

カムキニテスレ

赤茯苓

各三分

石細割合

テ毎服三錢水一盃ハシカミ三片入テ七分ニ煎メ滓ヲ瀝テ温テ服セヨ

○柴胡半芩湯

痰熱シテカシラ痛胸ホトヲリ手

足煩熱シ氣血ノ三千不調ツキメ身躰ヒイラキ痛ニ卧夏ヲ好ミカスクナク飲食無味ヲ治ス 柴胡 八匁

半夏三反半 人參

耳草

黃芩

麥門冬

心ヲステ、各三反

白朮右細割合 每服五錢水一盃半ハシカ三五片ナツ  
メ一入テ八分煎滓ヲ瀝テ 温服セヨ

○金沸草散

傷寒、胸咽ニ疼、アカリホトヲリ

頭痛ク筋ツリ時々ホトヲリ寒ヲ治ス 荊芥穗四反

半夏アラヒテナメリ 芍薬ステ、アフレ 耳草

細辛各一反 赤茯苓二反

前胡カフヲステヨ

旋覆花各三反

右細末每服二錢水一盃

ハシカ三五片ナツメ一入テ六分煎メ 温服セヨ二服スルニ立

處ニ効アリ

○大半隻湯

痰飲及脾胃不和ナルヲ治ス

半夏

白茯苓

生姜各二反

右細割合一度水二

盃入テ煎滓ヲ瀝テ 臍卧ニアメ、カニテ服ヨ

陳皮

耳草ヲ加テ入タルヲ二陳湯ト名ク

○四七湯

喜怒憂思悲恐驚ノ氣結レテ疼涎下

ナリカタキ繁ヲノヘタルカ 如ク或ハ梅ノ核ヲノミテ咽ニテ

サカリタルカ如クニメ咽ニ下テス吐クニ出サル是ヲ七氣ノナ

ス所ノ痰トナツク或ハア丑キシ氣アカリ嘔逆惡心ニノ中

腕アサカリニキテノヒ心ヨカラサテヲ治ス



婦人ノ情性執着ニテ心ユタカニトク夏アタハス多七氣ニ  
侵サレテ氣ツイニ胸ノ間ニ滿フサカル甚キ時ハイキタエムトス  
此藥男女人ニ通メ氣ヲ治スル也

紫蘇葉ニク

厚朴

ハシカミノシルニ  
ヒタシテニク

茯苓四ク

半夏五ク  
アフヒテ

右細剉合每服四錢水一盃半ハシカミ七片棗一入テ六分  
煎メ滓瀝テ温服スヘシ時ヲ定ス服メ効アリ

類醫抄卷第二十八終

